

令和 8 年度 裾野高等学校 部活動の基本方針

1 部活動における本校の学校教育目標の位置付け

教育目標 (スクールミッション)	個性や興味・関心、進路希望に応じた科目を生徒自ら選択し学ぶことができるという総合学科の「強み」を活かすことを通して、様々な挑戦を通じて自身と周囲の変化を促し、学びの成果を地域等に広く還元することのできる人材（人財）の育成を目指します。
目標具現化の柱 アドミッション・ポリシー (求める生徒像)	○「基本的生活習慣」が確立している生徒 ・基本的なルールやマナーを守ることができる生徒 ・挨拶ができる等、他者とながら、尊重することができる生徒 ○変化をおそれず、挑戦しようとする生徒 ・変化（change）を前向きな契機（chance）と捉えようとする生徒 ・失敗をおそれずに勇気をもって挑戦（challenge）しようとする生徒 ○地域を思い、地域の課題解決に取り組もうとする生徒 ・地域に生きる者として地域の未来を思うことができる生徒 ・地域課題を見つけ出し、その解決の方法を考え、行動しようとする生徒

2 部活動の活動方針

区 分	目 標
成果目標	各部活動が活動計画を作成し、活動目標達成を目指し努力する。
活動の具体的な取り組み	① 活動時間 平日は長くとも 2 時間程度、休日は 1 日 3 時間程度とし、週当たりの活動時間は 1 1 時間程度の範囲内とする。その中で、できるだけ短時間で合理的かつ効率的な活動を行うこと。 ② 休養日 週当たり 2 日以上を基準とする。 ③ その他 長期休業中に一定期間のオフシーズンを設定することとし、大会前など、練習が必要な場合は、その他の期間で調整する。定期試験一週間前は、原則として活動を行わない。毎週木曜日を「部活動の日」とし、部活動の時間（15:45～16:15）はすべての部が活動をする。原則として、19 時 30 分には片付けを含め活動を終了し下校する。